

## 尽きることのない光と力の泉

年間第24主日B年

「ナザレのイエスとはだれですか？」それは、権威あるその教えに耳を傾け、目の前で驚くような癒しを行うのを目撃し、ひたすら人の善のみを考えて行動する人に魅せられた人々の問いかけです。だれですかという問いと、何ですかという問いは明らかに異なります。何ですかと言えば、ある物について問い、だれですかと言えば、人について尋ね、その人の両親、兄弟、出身地、受けた教育、友人、仕事などについて問うことです。私たち一人ひとりはその関係によって造りあげられているものです。そして一人ひとりの本質的な課題は、自分を本物の人間に造り上げることだと言えます。ですが、だれひとり人の助けなしに、それができる人はいません。しかし主イエスの場合は特別です。それは、彼が特別な方であり、その果たすべき課題も特別なものだからです。その本質的な課題は、私たちと同様に、自分のアイデンティティを実現することです。ところが、主がアイデンティティを実現するという事は、すべての時代の、すべての人間が自己のアイデンティティを悟り、それを実現する力を汲み取る尽きない泉となられることです。ヨルダン川で洗礼をお受けになった時、イエスはご自分が神の子、油注がれたメシアであると、はっきり悟られたのですが、その時はまだ、教えに耳を傾ける群衆にそれを伝えることはできませんでした。それは、彼らがメシアについて誤った考えを持っていたからです。

多くのユダヤ人は、ローマ人の圧制のくびきから解放してくれるようなメシアを待っていました。そしてサタンはより巧妙な策をもって、荒れ野でイエスを誘います。それはメシアとして受けている不思議な力を自分の利益のために使い、人を驚かせるような業によって人気を得ることでした。それは父なる神の代わりにサタンに仕えることです。ですから、メシアの神秘を伝えるためには、適切な戦略が必要だったのです。ナザレでは皆がイエスをヨセフとマリアの子である言っていました。しかしそこに留まるなら、闇に留まることになります。ですから、ユダヤ人は、イエスの前代未聞の権威に満ちた知恵、教えの意味を現す不思議な癒しの奇跡に導かれて、イエスがだれであるかを問い続けることが必要でした。そうした雰囲気の中で、使徒たちへの主の問いは熟していったのです。「人々は、私のことを何者だと言っているか」。その問いは、ペトロが啓示によって照らされた答えを表現する、きっかけとなりました。「あなたはメシアです」。マタイの福音書は付け加えます。「生きておられる神の子です」。(マタ 16・16)

主イエスの生活、特にその公生活は、彼のアイデンティティを覆う暗黒のランプのようでした。そのランプが壊されない限り、彼のアイデンティティは知られるはずがありません。ランプが壊れたら、復活の光は信仰ある人々に、イエスがだれであるかを声高らかに伝えるはずでした。その戦略は共観福音書、特にマルコの福音書に見られます。彼の福音書は、「神の子イエス・キリスト（油注がれたメシア）の福音」という言葉で始まります。その真の意味は、神の子イエス・キリストについて福音書全体で説明しようとする事です。そして冒頭の言葉の後、すぐにそれを説き始めます。イエスがご自分について悟りを得られた洗礼の場面が描かれ、権威をもって教えられるイエスの姿、その教えの真理、罪をゆるす権威などが不思議な業によって神のものとして示されます。そのようにして福音書の中心である、主の問いとペトロの信仰告白が準備されていきます。それに、メシアの

課題を暗示するご自分の苦しみと十字架の死が付け加えられます。このペトロの信仰告白と主のお言葉は山上の主の栄光のうちに変容されます。マルコ福音が伝えようとするこれらすべての真の意味は、イエスの十字架上の苦しみと死の一部始終を見た百人隊長が、素直に告白した「本当に、この人は神の子でした」（15・39）という言葉そのものです。マルコはそのようにメシアの神秘を伝えてくれます。その神秘は、人間の歴史の神秘とキリスト者の生活の神秘です。それについて簡単に考えてみましょう。

人間の歴史は、永遠の死をもたらす罪という癌にかかっていると云えますが、人間の創造者だけがその救済策を知っています。創造者の無限の知恵が見いだした策は、永遠の死をもたらす罪によって罪のない神の子の命が奪われることを許し、もう死ぬことのない永遠の生命を生きられるように、御子を復活させることでした。イエスの死と復活によって、尽きることのない光と力の泉が造られました。そのように、永遠の生命への扉が開かれました。これは、凝縮された歴史の神秘と言えるでしょう。キリスト者の生活は、その歴史の中で展開され、キリストの死と命の葛藤に与り、キリストの勝利にも参与するのです。すなわち、キリスト者は、主によって造られた泉の豊かさを、教会の言う洗礼と他の秘跡を通して汲むことができ、秘跡によって主の死と復活の神秘に与るのです。

メシアの神秘は、人間の歴史の根源的な神秘であり、キリスト者の生活の神秘です。マルコの福音書によってその展望が開かれたのです。

J. E. ペレス・バレラ S.J.